CHUKYO UNIVERSITY LIBRARY

中京大学図書館発行　クリブニュース

CULIB NEWS

2016. 10. 1

No.83

「あるべき姿を求める図書館」

中京大学図書館長　佐藤　隆

秋学期を迎えました。夏期休暇は如何お過ごしでしたか。学部・院生、また教職員の皆様は有意義な日々を終えられ、年度後半の目的に向けて確実に歩み始められたと存じます。

中京大学図書館は、名古屋キャンパスの「名古屋図書館」や豊田キャンパスの「豊田図書館」を中心に、時代に迎合しない従来型の図書館と、時代に即応した未来型の図書館との共存を目指し、日々検討を重ねています。

先回のクリブで注目しました「アクティブラーニング」、文部科学省の用語では「教員による一方向的な講義形式の教育とは異なり、学修者の能動的な学修への参加を取り入れた教授・学習法の総称。」について触れます。と言いますのは、８月２日の新聞各紙が、１日に公表された中央教育審議会の次期新学習指導要領の改訂案を報道していたからです。改訂案の中には、小中高において児童生徒が主体的、能動的に授業に参加する「アクティブラーニング」を、全教科で導入することが示されていました。今後「アクティブラーニング」が導入され、その体験を有した高校生たちが大学に入学することとなれば、大学での「アクティブラーニング」による教授法の重要性は、より一層進められることになります。

さて、おもに大学の教室内で実践されるこの学修方法では、主体性を持って参加する各自が、当該分野の知識に対して日々研鑽を積み高めておくことが不可欠です。そして、その研鑽を高める場としては、多方面の情報を持ち、ラーニングコモンズも備える図書館が、最適な学修環境の場であると考えます。図書館を様々に活用し自身を高めて下さい。図書館としては、質の高い学修が体得できるよう努力いたします。

６年にわたり、絶滅危惧種である上代古典文学の中の、『万葉集』世界の魅力をお伝えいたしました。ご安心下さい今回が最後です。先回は奈良時代以前を紹介しましたので、奈良時代の山辺赤人の「梅歌」と「桜歌」を紹介しましょう。

あしひきの　山桜花　日並べて
　かく咲きたらば　はだ恋ひめやも
（８一四二五）

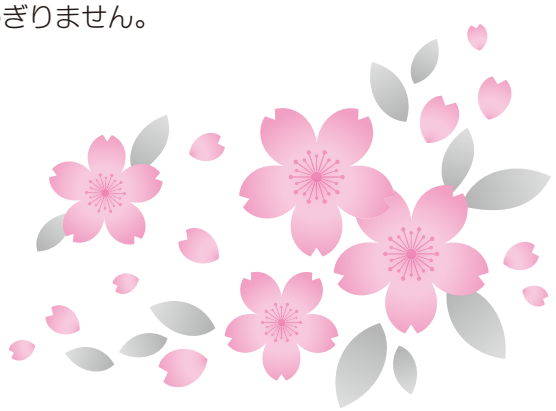
（山の桜花が幾日もこんなに咲いたら、ここまでひどく恋しくはおもわないでしょうよ。）

我が背子に　見せむと思ひし　梅の花
　それとも見えず　雪の降れれば
（８一四二六）

（あの方にご覧に入れようと思っていた真っ白な梅の花は、どれがそれとも判らない。雪が降っているので。）

です。「山桜花」歌は以前の72号にて触れました。「桜花」は平安時代以前の奈良時代の人々にすでに賞美されていました。奈良時代に渡来した梅の木のお洒落な「梅花」も同様に人々に愛されました。人々は中国文学の影響下で、白梅の花の純白さに魅了され虚実の中で詠出したのです。当時の人々は、自国の文学だけでなく外国文学も貪欲に取り入れ、さらなる文学の成熟を図っていました。

現状に満足し慢心することなく、常に明るい未来に向けて弛まぬ努力が求められるのは、和歌世界にかぎりません。



CULIB HISTORY

「クリブヒストリー」
― 図書館の過去・現在・未来 ―

第３章　「21世紀」開幕前夜（1995 ～ 1999 年）

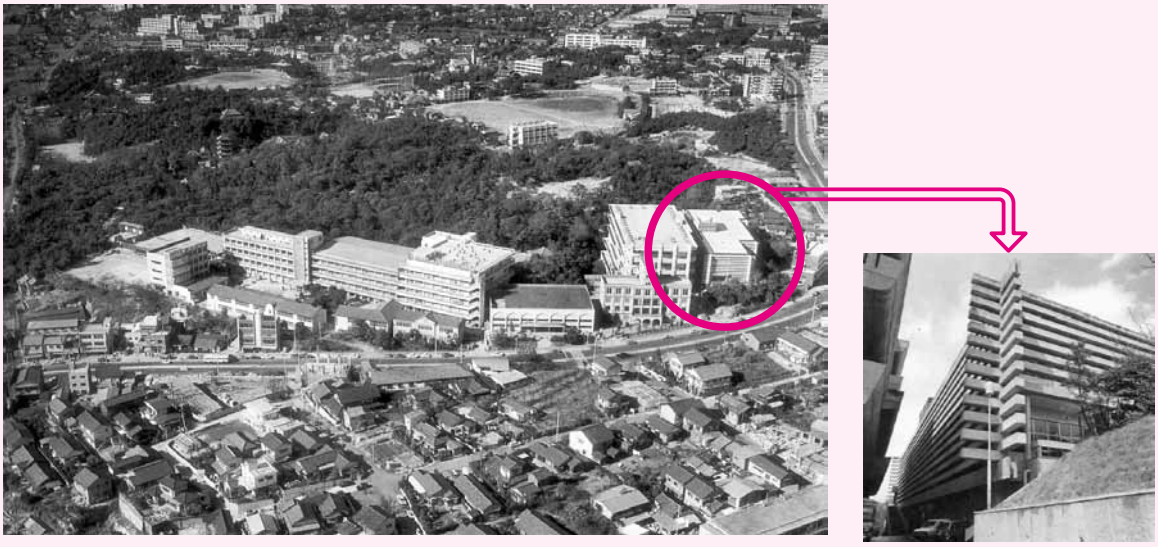
中京大学図書館の４館体制の一翼を担うライブラリーサービスセンター（LSC）が誕生したのは、平成7（1995）年である。前年の平成6（1994）年に開学40周年を迎えた本学は、記念事業の中核プロジェクトとしてセンタービル（0号館）を建設。LSC はその3、4階部分に設置された。記念事業のスローガンでもある「開かれた大学」にふさわしく、LSC の閲覧室は市民にも開放され、パソコンやインターネットを使った蔵書検索も可能となった。都市型大学へと急ピッチで変貌を遂げた中京大学。その歩みに合わせて、図書館も大きく前進した。

第１節　「旧図書館本館」増改築計画が浮上

昭和44（1969）年に建設された旧名古屋図書館本館は、地上4階建て（3、4階の一部は研究所等）だった。“宝物殿”をイメージさせる校倉造りの建物で、威厳を堂々と放っていた。

しかし、建設から四半世紀が過ぎた1995年の時点で、本館の蔵書冊数は約45万冊にまで増えた。数年後に収蔵能力（キャパシティー）の60万冊を超えることは、目に見えていた。

学部や大学院（研究科）が増設されるに伴って、本館の蔵書数も毎年、約1万5,000冊（図書資料1万冊、製本雑誌5,000冊）のペースで増えていった。



▲昭和 44 年の大学鳥瞰写真　手前ビル群の右端（赤丸）が旧図書館本館
下からみた写真が右の写真（校倉造りが印象的）

CULIB HISTORY

当時、文部省では「新設・増設の大学院、学部・学科に関連した図書資料の蔵書数を含め新設・増設申請すること」と定めていたため、必然的に蔵書数が増えた。

平成5（1993）年頃になると、旧名古屋図書館本館の蔵書数は約42万冊となり、収蔵能力の70%を超えた。増改築の話が沸いてきたのは、この時である。

当初は、開架図書室の充実を図るため、全面改築が計画された。それまでは、閉架書庫中心の建物で、蔵書の多くは閉架書庫に収蔵されていたからだ。総蔵書数423,486冊に対し開架図書の冊数はわずか33,401冊で、全蔵書の7%に過ぎなかった。

▲閲覧室

▲開架書架

当時は、上の写真に見られるように、閲覧室（図書の配架がされていない学習スペース）は十分に確保されていたが、開架室は非常に手狭だった。

図書館利用者の多くは、下の左の写真にあるような目録室（目録カードの入ったボックスがあるスペース）で自分の読みたい図書資料を探し出し、出納室（現在の閲覧カウンター）に図書請求カードを提出して書庫から図書を出納してもらって閲覧室で読んだり、借り出したりした。

▲目録室

▲出納室

CULIB HISTORY

第２節　ライブラリー・サービス・センター（LSC）誕生の舞台裏

このような状況を打開するために、「単独棟」建設の話が持ち上がり、図書館内で計画の検討が始まった。しかし、単独棟建設には多額の費用が掛かる。加えて、新図書館建設までの図書館利用や蔵書資料の保管場所をどうするか、といった問題があり、計画はなかなか進まなかった。

そんな折、大学開学40年記念事業の中核プロジェクトとして、センタービルの建設計画が立ち上げられ、その一環として LSC が設置されることになった。図書館にとっては、“渡りに船”のような出来事だった。

▲図書館入口までは長い階段で、利用者からは不評だった

しかし、その一方で、窓口が増えることによるサービスの相違や、分散してしまう図書館の管理運営をどうするかなど、新たな課題も出てきた。

図書館内で幾度となく議論を重ねた結果、本館は「研究図書館」として位置づけ、センタービルに設置される図書館（LSC）は「学習図書館」としての機能を持たせることで、棲み分けを図ることになった。

本館には開架閲覧室を設置せずに、そのスペースを「参考図書室」とする。閲覧席はそのままにして、参考資料が自由に手に取れることが出来るようにする。学習と言うよりは、むしろ何かについて調査研究できる環境を、という狙いだった。それまで参考図書室として利用していた部屋は「地域資料室」とし、図書館の主力コレクションとして収集していた地方史関係資料を配架した。

一方、LSC の収蔵可能冊数は10万冊と予定し、当時の本館開架室の配架冊数30,000冊の約3倍のスペースとした。ライブラリー・サービス・センター（LSC）という名称には、学習図書館であることと、オール開架であることの２点をアピールする意味合いが込められていた。LSC には目録室を設置せず、資料のデータベース化（電算化）の進捗に伴い、コンピューターを使った検索コーナーを設置することになった。

CULIB HISTORY

◀２号館（右側）と隣接していた当時の名古屋図書館本館

当時、世間では「開かれた大学」と言う言葉がもてはやされていた。多くの大学が、在籍する学生ばかりではなく一般の人々を何等かの形で受け入れ、大学の施設を提供するという風潮が高まっていた。本学もその流れの中で、本学教授による公開講義や、一般の人々を受け入れる講義（オープンカレッジ）が実施されるようになった。放送大学の学習センターを受け入れたのも、その趣旨に沿ったものである。

図書館でも「一般利用者を受け入れ、利便性の高い図書館にしなければならない」というコンセンサスが形成されつつあった。LSC は時代の「申し子」として誕生した、と言ってもいいだろう。

第３節　図書館ホームページの開設

当時の図書館の電算化の状況は、平成6（1994）年の時点で、全蔵書の26%にすぎず、LSC オープン時の平成7（1995）年ではわずか32%だった。LSC は、スペースの関係から、目録室を設置せずパソコンを利用した蔵書の検索ができるようにする必要があった。このような状況から、オープン時には、図書館システム専用端末機の VT 端末機と呼ばれる CUI 表示（文字情報による表記）のものを5台設置した。加えてウインドウズパソコンを3台設置し、WWW（ワールドワイドウェブ）を利用して図書館内においてパソコンでさまざまな情報検索や他大学の蔵書検索もできるようにした。

図書館に設置された3台のウインドウズパソコンは、インターネットの利用もできた。インターネットへのアクセスには制限をかけたが、初のパソコンによる蔵書検索をするため、図書館ホームページも作成公開した。ホームページでは、本学図書館の蔵書検索はもちろんのこと、本

▲利用者情報検索コーナー

CULIB HISTORY

学4つの図書館の紹介や本学が作成した雑誌目録、各サービスの案内、図書館カレンダーなどを閲覧できるようした。さらに他大学の図書館蔵書検索や情報提供機関のホームページにリンクして利用もできるようにした。

大学で最も早く公開した図書館ホームページは、HTML で作成したシンプルなもので、図書館員がプログラミングして作成した。フレームを2分割して、トップページの中心となるメインフレームは4つ（本館・LSC・LLC・豊田分）作り、それぞれのページに他の3つの図書館の写真を載せ、各館の写真をクリックすると､各館のトップページ（メインフレーム）にリンクするようにした。フレーム左側には「Culib Opac」と題して、蔵書検索をするためのボタンや雑誌目録のエクセルデータにリンクできるボタン、他大学や他の情報機関のホームページへリンクできるボタンを並べて表示した。

HTML
Hyper Text Makeup Language（ハイパーテキスト､マークアップ､ランゲージ）の略。ホームページを作るための最も基本的なマークアップ言語のひとつ。ホームページのほとんどが、この HTML で作られている。

このホームページは、東海地区でも早い時期に公開されたこともあり、シンプルな表示ではあったが非常に使いやすいとの評判を得た。その1年後の1996年6月には大学ホームページが公開されて、図書館ホームページはリンクされ、2年後の1998年4月には図書館ホームページを少しリニューアルした（下図）。

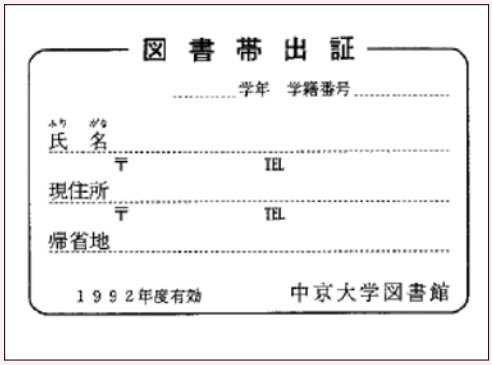
▲ 1998 年の図書館ホームページのトップ画面
（左フレームの Culib Opac は情報検索のフレーム、右フレームは 4 つの図書館の紹介ページで構成）

CULIB HISTORY

このホームページリニューアルと同時に、各館のカウンターに貸出用の VT 端末を設置した。開架資料の電算化を優先して進めてきたこの時点での電算化状況は、全蔵書の約45%でそのうちの開架資料に関してはほぼ終了していた。

利用証も帯出証からバーコードの付いたユーザーカードに一新した。電算化資料のバーコードとこのユーザーカードのバーコードをスキャンすることで貸出手続は終了した。

従来の貸出手続は、依然として残ったが、特に LSC にあっては、開架資料を中心とした図書館であったこともあり、この貸出の簡素化はサービス向上に大きく貢献した。



◀ 1997 年までの図書帯出証
裏面には貸出上の注意事項を記載

▲ 1998 年からのユーザーカード
裏面には自筆署名欄と注意事項に加えバーコードを記載

約5年間、この図書館ホームページは運用された。そして2003年大学ホームページが大幅にリニューアルされると同時に、図書館のホームページも大きくリニューアルされ、現在に至っている。

LSC の設置は、大学にとっても図書館にとってもビッグイベントだった。図書館スペースの拡張と情報化社会にしっかりと対応した開かれた図書館としての空間。さらに「全世界に向けて公開する」という意味のあるホームページを公開できたことが、その後の図書館の更なるステップアップに繋がり、現在の図書館に受け継がれていることは言うまでもない。（続く）

（名古屋図書館参事　加藤 恭輔）

『家郷の訓』

宮本 常一

岩波文庫

民俗学者、宮本常一（1907~1982）が、明治末から大正期の自分の村（山口県大島）でどのように「村人」に育っていったかを生活史として克明に描いた本である。

「よき村人」になるとは「先ず何よりも村の風をよく理解して」、「その村の色に最も染まること」である。換言すれば、村の人間関係を律する規範や考え方がどのように伝承されてきたか、である。幼児の頃は祖父母がお話を聞かせ、近所の年上の娘たちが面倒を見てくれる。7歳を過ぎると父母が仕事や礼儀、付き合いの仕方を教える。「子どもの世界」は異なる年齢層からなり、その集団的遊びの規範形成力は言葉に勝るものを感じさせる。そうして「村の色」に染まることは「個性」を活かすことになるという指摘は、「現代」の個性批判ともなる宮本の実感であった。現代の地域や子どもを考える上でも必読の書である。

現代社会学部 教授　小木曽 洋司

『大学でいかに学ぶか』

増田 四郎

講談社現代新書

本書は50年程前に出版されたが、今でもその輝きを失っていない。改めて読むと、「大学では、･･･講義に触発されて、それぞれに、自分で考える力を養うことが､勉学の主眼」や､「まず広く教養を身につけて」といった大学で学ぶことの意味が分かりやすく、かつ具体的に語られている。

本書はかの有名な『学問のすすめ』を強く意識している。しかし、明治のエリート層は思想として近代の精神を継受したが、大方の日本人は「その思想を日常生活に生かす訓練をしてこなかった」と断言する。

途中に西洋経済史の研究者である筆者の歩みを辿る部分がある。皆さんには退屈かも知れない。しかし、それらの回想が、最後のいくつもの至言に繋がっていることを忘れるべきではない。是非とも一読を薦めたい。

総合政策学部 教授　桑原 英明

書籍紹介 先生編

『昆虫食入門』

内山 昭一

平凡社新書

「昆虫食」という言葉を耳にしたことがあるだろうか？本書は幼少より昆虫を食し、昆虫食の可能性を科学的視点で追求してきた著者による、昆虫への愛情がたっぷり詰まった昆虫食の入門書である。人口増加による食糧問題が叫ばれる現在、人類の貴重なタンパク源として昆虫が注目されている。2013年、国連食糧農業機関は「昆虫食は食糧危機への有力な解決策である」との報告書を公表した。その影響か最近では昆虫食という言葉を耳にする機会が増え、虫食いフェスティバルなるものも開催されている。ところで虫を食べたいかと問われれば大多数の答えは否である。では何故かと問われれば、どう答えよう。エビは食えるがセミは食えない、これは理性か。一瞬でも悩んだあなたは本書を手に取り、昆虫食の味わい深さを知って欲しい。そして、そうだ、虫を食おう！

心理学部 准教授　高橋 康介

『ぼくは、図書館がすき －漆原宏写真集』

漆原 宏

日本図書館協会

「もう、随分長い間公立図書館へは行っていません」そんな学生の声をよく聞く。小学生の時は母親に連れられてよく行った。しかし、中学生・高校生ぐらいになるとクラブ活動や塾などに忙しくなり、足が遠のく。該書は、そんなみなさんが、また公立図書館へ行ってみたくなるような図書館写真集である。お話会での子供たちの笑顔、図書館訪問をした園児たち、真剣な眼差しで勉強に取り込む中学生、メインカウンターで職員に話しかけるお年寄りなど、どの写真も図書館であればごく普通に見られる場面である。だが図書館という空間において年齢も性別も立場も異なる人と人の繋がり、人と様々な資料が出会う一コマに不思議と心が和む。さらに、貴重な資料が整然と平積みされた書庫、開館前の事務室、図書の修理の様子など、図書館の裏側が垣間見られるのも該書の魅力だ。

写真家の漆原宏さんは図書館を撮り続けておよそ40年。2015年度まで『図書館雑誌』の口絵写真を飾る。

文学部 准教授　中川 豊

『レベル7』

宮部 みゆき

新潮文庫

推理小説、時代小説、ファンタジー小説と様々なジャンルで名作を生み出す宮部みゆきのミステリー・サスペンス。

「レベル7まで行ったら戻れない」そう言い残して1人の女子高生が失踪した。日記を手掛かりに彼女を探すカウンセラー。腕に「Level7」の文字がある記憶喪失の男女。女子高生の行方と自分たちの記憶。2つの追跡が重なり合ったとき、思いがけない事態へ急展開していく。“レベル7”とは一体何を示すのか？さらに過去に起こった凶悪事件の真実とは？緊迫した4日間が描かれる。

物語の前半から張られてきた数多くの伏線をものの見事に回収し、大どんでん返しもあるクライマックスは圧巻の一言。ページをめくる手が止まらなくなること間違いなし。最近読んだ本が物足りないと思う人に読んでほしい1冊。

現代社会学部 3年　鍵本 涼

『シューマンの指』

奥泉 光

講談社

「あぁ、やられた！」――と、物語に裏切られたことはあるだろうか？　驚きの展開、鮮やかなトリック、予想だにしなかったラスト、衝撃の犯人……例を挙げればきりがないが、その『裏切り』こそ物語の重要なポイントであり、作者が読者へ置いていく、とっておきのプレゼントだ。最近ではそれに重点を置き、売りにする作品も多い。『ラスト三行で……』というものだ。さてこの本について。その裏切りがどのようにはいっているだろうか？　答えは簡単である、思考が止まるほどに詰め込まれている。

物語は、シューマンの調べと蘇る、友人であった天才ピアニストの悲惨な事件。その事件までの道筋と終局を主人公が思い出す時、新たな犯人が浮かび上がり始め――というミステリーだ。終局に向けての怒涛の展開とラストは、全てが反転するような驚きを与えてくれるだろう。読む際は是非裏切られた回数を数えてほしい。――ちなみに私は五回裏切られた。

文学部 3年　出口 彩

書籍紹介 学生編

『三四郎』

夏目 漱石

集英社文庫

この物語は、主人公の三四郎が九州から東京へ上京する汽車の中から始まります。彼は新たな都会での生活、大学での勉学などから多くの刺激を受けます。そんな彼がたまたま池のほとりでひとりの女性と出会い、そして彼女に魅かれていくのです。

本書の初出は1908年9月から12月まで、新聞に掲載された連載小説です。およそ100年以上前の作品が、今もなお読み継がれているのはとても素晴らしいことです。実際に、夏目漱石の著作を手に取って読んでみると、コトバ遊びがユニークで、大変味わい深く読むことができます。この物語も例外ではありません。

他方で、近代文学は作品が書かれた「時代」を感じることができる点も大きな魅力です。私はこの本がきっかけで、近代文学の面白さに気づくことができました。日本の近代文学になじみのない方もぜひ一度手にとって読んでみてください。

経済学研究科 修士課程 1年　服部 竜二

『アンドロイドは電気羊の夢を見るか？』

フィリップ・K・ディック
訳　浅倉久志

ハヤカワ文庫

近未来 SF となっており、現代では考えられないような様々な技術の進んだ世界観と話の構成力にただただ圧倒される作品である。

検査を受けなければ人間とアンドロイドが判別できないような精巧なアンドロイドが作られる時代。火星から逃亡した奴隷アンドロイドを捕まえて賞金を稼いでいる主人公リック・デッカードは、ある日莫大な懸賞金をかけられた8人のアンドロイドを捕まえる依頼を受ける。希少で高値な生きた動物を飼うことが権威の象徴となっているなかで、お金が無く機械で作られた電気羊しか持っていない主人公は、本物の動物を飼うためにこの依頼を引き受けることを決める。

「人間とは」という哲学的な疑問を深く考えさせられる作品である。これを読めばこの作品の題名の奥深さが分かるだろう。

心理学部 3年　山本 裕美子

EVENT REPORT

多彩な講座や講習会
ネット検索やレポート指導

名古屋図書館と豊田図書館では６月に、文献管理や論文作成の支援ソフト「END NOTE（エンドノート)」の初心者向け講習会を実施した。また、豊田図書館では、医学論文情報のインターネット検索サービス「医中誌 Web」の利用講習会や､能動的学修支援施設「ラーニング･スクエア」を利用する学生の指導にあたるラーニング・アドバイザーによる「レポートの書き方」講座も開いた。利用者サービスの向上に取り組む図書館活動の一部を紹介する。

【6月24日実施：END NOTE（エンドノート）講習会】

研究論文を作成するうえで、最も煩わしい作業の１つが、投稿規定に沿って作成する事であり、論文の文末に記載する参考文献集の作成である。その参考文献をパソコンの中でファイル整理することで、論文作成時間を大幅に節約することができるのが、文書管理･論文作成支援ソフト「エンドノート」だ。

講習会は紀伊国屋書店より講師を招き、教員・院生・図書館スタッフを主な対象として開催された。特に図書館スタッフは積極的に参加、習得したノウハウをゼミガイダンス等の説明の際に学生に伝えるなど、利用者の拡大に務めている。

【6月29日実施：医中誌 Web 講習会】

「医中誌 Web」は、医学中央雑誌刊行会が作成・提供する国内医学論文情報のデータベースである。医歯薬学・介護・リハビリテーション、および関連分野の定期刊行物、約6,000誌から収録した1,000万件以上の論文情報を検索することができる。

講習会は、豊田キャンパスのスポーツ科学部を主な対象として、教員・院生・図書館スタッフに向けて開催された。当日は丸善雄松堂より講師を招き、基本的な検索方法から、より便利に使うための支援機能解説の後、活発な質疑応答がなされた。

【6月30日実施：「レポートの書き方」講座】

豊田図書館が定期的に実施しているラーニング・アドバイザーによる講座シリーズであり、今

回のテーマは「レポートの書き方」について。事前告知（館内掲示・ALBO 等）が功を奏し、当日は会場のラーニング・スクエアが学生であふれ、ほぼ満席の状況。レポート作成の資料収集方法からまとめ方に至るまでのわかりやすい解説に、全員熱心に聞き入っていた。終了後のアンケートに「次のシリーズが楽しみ」と感想をつづった学生も多く、好評のうちに終わった。

EVENT REPORT

好評の図書館「選書ツアー」

学生が書店で蔵書購入

学生たちに書店で、図書館の蔵書となる図書を選んでもらう「学生選書ツアー」が6月18日に行われ、参加した16人の学生が計367冊の図書を選んだ。

学生の目線で、授業を受けるうえで参考になる本やレポート・論文の作成に役立つ本などを選んでもらい、図書館の蔵書利用の促進につなげようという目的。本の購入費用は図書館学生選書費から拠出した。

学生たちは、名古屋市内の書店の書棚の間を何度も往復しながら、本を手に取って、じっくりと内容を確認していた。

学生選書ツアーの参加者からは、次のような感想が寄せられました。

色々なジャンルのコーナーを回って行ったので、興味がなかった分野にも触れることができ、「あ、これ面白そう」と新らたな興味がわきました。そして、自分が興味ある本が意外とすでに図書館に置いてあるということに驚きを覚えました。これを機に、図書館をもっと利用してみようと思いました。

選書ツアーでは、『自分が欲しい』という視点だけではなく、他の学生さんにも読んで欲しい本を選書するという作業の難しさを知る、非常に良い機会になりました。図書館を利用する皆さんの学習や研究に役立てるのであれば幸いです。

2016年度　図書館カレンダー

図書館の一年間の開館予定が一覧でご覧になれます。
各館ごとの臨時休館、開館時間の変更等は、図書館ホームページの【ニュース】でご案内いたします。

◎通常の開館時間

	名古屋図書館（NL）	ライブラリーサービスセンター（LSC）	法学文献センター（LLC）	豊田図書館（TL）
平　日	9：00～22：00 (中京大学の教職員証・学生証をお持ちでない方は下記時間内に入館して下さい 平日9:00～19:00、土曜日9:00～15:00)	9：00～20：00	9：00～19：00	9：00～20：30
土曜日		9：00～12：30	9：00～12：30	9：00～17：30

◎日付の色について

無印は通常開館日
○の開館時間（全館　平日9：00～17：00、土曜日9：00～12：30）
■は休館日
●の開館時間（定期試験月の休日開館日　10：00～17：00（LSC のみ））
□はオープンキャンパス、ホームカミングデー時間帯開館日（9：00～16：00）

名古屋図書館（NL）

	日	月	火	水	木	金	土
10月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
11月			1	2	3	④	⑤
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
12月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	㉖	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
2月				1	②	3	4
	5	6	7	⑧	⑨	⑩	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘				
3月				①	②	③	④
	5	6	7	8	9	10	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	20	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	

ライブラリーサービスセンター（LSC）

	日	月	火	水	木	金	土
10月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	㉙
	30	31					
11月			1	2	3	④	⑤
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
12月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	㉖	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4	5	6	7
	⑧	⑨	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	㉒	23	24	25	26	27	28
	㉙	30	31				
2月				1	②	3	4
	5	6	7	⑧	⑨	⑩	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘				
3月				①	②	③	④
	5	6	7	8	9	10	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	20	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	

法学文献センター（LLC）

	日	月	火	水	木	金	土
10月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
11月			1	2	3	④	⑤
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
12月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	㉖	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	31				
2月				1	②	3	4
	5	6	7	⑧	⑨	⑩	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘				
3月				1	②	3	4
	5	6	7	8	9	10	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	20	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	

豊田図書館（TL）

	日	月	火	水	木	金	土
10月							1
	2	3	4	5	6	7	8
	9	10	11	12	13	14	15
	16	17	18	19	20	21	22
	23	24	25	26	27	28	29
	30	31					
11月			1	2	3	④	⑤
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30			
12月					1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10
	11	12	13	14	15	16	17
	18	19	20	21	22	23	24
	25	㉖	27	28	29	30	31
1月	1	2	3	4	5	6	7
	8	9	10	11	12	13	14
	15	16	17	18	19	20	21
	22	23	24	25	26	27	28
	29	30	㉛				
2月				①	②	③	④
	5	6	7	8	9	10	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	⑳	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘				
3月				①	②	③	④
	5	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	11
	12	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
	19	20	㉑	㉒	㉓	㉔	㉕
	26	㉗	㉘	㉙	㉚	㉛	

発　行　　中京大学図書館
〒466-8666 名古屋市昭和区八事本町101-2　TEL(052)835-7157　http://www.chukyo-u.ac.jp/research_2/library/　印刷　株式会社 一誠社